

ネイティブ **Crotalus atrox** L-アミノ酸オキシダーゼ

Cat. No. NATE-0367

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、L-アミノ酸オキシダーゼ（LAAO）（EC 1.4.3.2）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $\text{L-アミノ酸} + \text{H}_2\text{O} + \text{O}_2 \leftrightarrow \text{2-オキソ酸} + \text{NH}_3 + \text{H}_2\text{O}_2$ 。この酵素は1944年にA. ゼラーとA. マリッツによって初めて記述されました。LAAOは分子量に関して非常に可変性があるだけでなく、安定性に関しても大きく異なります。同様に、この酵素はアポトーシス誘導、浮腫誘導、出血、血小板凝集の抑制または誘導を含む無数の生物学的活動を行います。

用途 L-アミノ酸オキシダーゼは、L-アミノ酸を可溶性α-ケト酸に可換するために使用されます。この製品はCrotalus atroxから得られています。1ユニットは、pH 6.5、37°Cで1分あたり1.0μモルのL-フェニルアラニンを酸化脱アミノ化します。Creative EnzymesのL-アミノ酸オキシダーゼは、ロイシニアミノペプチダーゼ（LAP）活性アッセイに使用されています。

別名 L-アミノ酸オキシダーゼ; LAAO; L-AAO; EC 1.4.3.2; 9000-89-9; オフィオアミノ酸オキシダーゼ; L-アミノ酸:酸素オキシドレダクターゼ (脱アミノ化)

製品情報

由来 クロタルス・アトロックス（西部ダイヤモンドバック・ラトルスネーク）

形態 乾燥した毒

EC番号 EC 1.4.3.2

CAS登録番号 9000-89-9

活性 > 0.10 単位/ mg 固体

単位定義 1ユニットは、pH 6.5、37°Cで1.0μmoleのL-フェニルアラニンを酸化脱アミノ化します。（L-ロイシンは、pH 7.8、37°Cで同じ速度で脱アミノ化されます。）

保管・発送情報

保存方法 -20°C